



皆さんこんにちは！  
 地域おこし協力隊の渡辺です。  
 今月号から、池田隊員と毎月交代で情報をお届けします。  
 今月の集落支援だよりでは、弥生集落の訪問、人足、ドローン撮影について紹介します。



弥生在住の小椋ヤス子さん

弥生集落は、高齢化率が100%に達している集落です。春から秋にかけて3世帯が集落内で暮らし、冬期間は、豪雪のため集落外で生活を送っています。

## 弥生集落訪問



地域おこし協力隊 集落支援担当

わたなべ たかひろ  
渡辺 貴洋 隊員

冬が近づき始めた11月上旬が今年度最後の訪問となりました。弥生に住んでいる住民の皆さんは、「生まれ育ったここ（弥生）がいい」と話していました。また来年の春に元気にお会いできることを楽しみにしています。

## 秋の人足を実施

上谷地区の人足の現状と今後の支援の可能性を探るため、初めて同地区の人足に参加しました。程窪、泥浮山、長桜の3集落合同で計18名により作業を行いました。



上谷地区での人足作業

国道49号入口から集落までの約4kmにわたる側溝の落ち葉上げは、とても重労働でした。しかし、集落の皆さんと交流しながらの作業はとても

楽しく感じました。



中町集落での落ち葉上げの人足

中町集落では、地域おこし協力隊4名に協力してもらい、水路の落ち葉上げを行いました。

初めて人足作業を体験した隊員も、住民と話しながら交流し里山の生活に触れていました。

奥川地区では、大学生の力を活用して人足のボランティアの受け入れを行っています。中町集落では、春は山菜、秋はなめこを参加した学生が自ら採り、慰労会で味わうといった体験を行っています。

人足に参加した学生からは、普段の生活ではなかなか体験できないことができるいい機会だという声が聞かれます。

ボランティアの受け入れの際に、今あるものを活かし、ありのままを体験してもらうことが、継続して楽しく交流するために必要かもしれません。

## 大舟沢集落ドローン撮影

町ケーブルテレビの協力のもと、重点4集落のドローン撮影を行っています。

今回は、電波状況の関係で夏に撮れなかった大舟沢集落の幕ノ内にて、集落と飯豊山の眺望を撮影しました。記録映像として残すことで、文字や写真とはまた違った印象を持つことができます。今後は、大舟沢集落の本村と越戸の撮影を行う予定です。



幕ノ内でのドローン撮影